

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	白内障術後における3種類の眼内レンズ前房深度安定性の比較
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 眼科 教授 佐々木 洋
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2023 年 3 月 10日
対象者	2010年～2015年に白内障手術を受け、当院または門前診療所で術後1か月以降経過観察が可能であった200眼
当該研究の意義・目的	今回の研究は、3種類の形状の異なる眼内レンズにおいて、前房深度(角膜の後面から眼内レンズの前面までの距離)の術後の変動を明らかにすることです。眼内レンズ位置の安定性は術後の屈折に関与し、術後の裸眼での見え方に影響するため、眼内レンズの形状による違いを理解することは、術後屈折を予測する上で極めて重要と考えます。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、診療録から白内障術後の屈折値を、前房深度は測定機器のデータベースより数値を取得し、得られたデータから前房深度と屈折値の関係を解析します。3種類の形状の異なる眼内レンズの選択に関しては、各施設で採用しているレンズの中での使用であり、通常診療内において選択していますが、どのレンズも視力がでるという点では共通しており、患者様の不利益になることは一切ありません。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることも一切ありません。上記期間中に得られた検査データなどを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	本研究の研究責任者は、本研究の試験品の製造販売企業から研究費を受け入れています。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 助教 石田秀俊 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511内線（7301）

作成日： 2020 年 1 月 16 日